ローカルワイド 県南

ニュースや話題の提供は

八代支社
TEL 0965(32)7161
FAX 0965(32)7495

水俣支局
TEL 0966(63)3445
FAX 0966(63)4511

芦北支局
TEL 0966(82)2070
FAX 0966(82)2088

宇城支局
TEL 0964(32)0144
FAX 0964(33)5465

宇土支局
TEL 0964(23)1225
FAX 0964(23)1335

人吉総局
TEL 0966(23)3302
FAX 0966(23)5631

球磨支局
TEL 0966(42)2161
FAX 0966(42)3045

天草総局
TEL 0969(22)2413
FAX 0969(22)4404

牛深支局
TEL 0969(73)2380
FAX 0969(73)2218

上天草支局
TEL 0964(56)5570
FAX 0964(58)5780

「大矢野道路」設計が完成

県、地権者説明会スタート

県は、熊本天草幹線道路の一部である上天草市の「大矢野道路」の設計が完成したとして、ルート上の地権者や沿線住民対象の事業説明会を23日、同市大矢野町登立の東満地区コミュニティプラザ「キャモン」で開いた。道路は片側1車線で、全幅12㍍とすることなどを明らかにした。

大矢野道路は、天草市の「大矢野道路」橋（新天草1号橋）につながる登立インターチェンジ（IC）から、国道266号の西側を通って大矢野ショッピング前の同国道宮津交差点に接続する3・4㌔区間。同交差点付近にICを新設する。

盛り土や切り土のほかトンネル（約930㍍）1本、橋りょう3カ所を設けて片側1車線ずつの自動車専用道路（設計速度は時速80㌔）として整備し、中央分離帯と路肩を含め幅員12㍍を予定。既存の市道などは一部、付け替える。

県は2019年度に事業着手。概略ルートを地元に提示し、測量や地質調査、設計を進めてきた。22年度の着工を目指す。完成時期は未定。総事業費は約170億円を見込む。

県の担当者（右）から、大矢野道路の設計内容などについて説明を受ける地元住民たち＝上天草市

漂着の位牌 早く持ち主に…

7月の豪雨災害に伴い、宇城市の不知火海沿岸に流れ着いた漂着ごみの清掃ボランティアをしている中央大1年の作森元司郎さん（19）が、漂着物の中に位牌を見つけた。会員制交流サイト（SNS）などで、持ち主の情報を求めている。

2020 熊本豪雨

で保管

作森さんは8月25日、不知火温泉センター近くの消波ブロックの隙間で位牌を見つけた。「金色の部分が光って見えた。持ち主の元へと帰りたい

水上村 コロナ対策に32事業

1次産業、村外通勤者に給付金

水上村は、新型コロナウイルスに対応する経済対策として、さまざまな業種や生活者を支援する32事業を打ち出した。商工業者支援が中心だった春の経済対策に比べ、1次産業やサラリーマン世帯にも軸足を置いたのが特徴。10月から順次実施する。

村によると、物産館などに特産物を出荷している生産者に、減収額の半分を支援する持続化給付金を新設。子牛価格が下落している畜産業者には、前年度同時期の村平均せり価格との差額に対して2分の1（1頭5万円を限度）を補助する。

村外に通うサラリーマンも支援。通勤地域に応じて5千円か1万円を1回給付する。

さらに、6月にも交付した全村民約2100人対象の5千円商品券を再び交付。観光支援では、宿泊費を半額（1回5千円まで）とし、飲食費も割り引くクーポン事業を来年2月末まで展開する。

事業総額は1億3500万円で、関連予算は9月議会で可決された。（坂本明彦）

市議会

23日

【宇土市】追加提出された20年度一般会計補正予算など30議案を可決

補正予算（予算7、決算10、条例4、人事1、その他8）を可決、同意、認定して閉会した。決算は、10月14日午後7時半から大矢野総合体育館で開く。（松冨浩之）

説明会は10月上旬にかけて地区ごとに計8会場で開く。23日は、東満公民館で昼の部に約20人が参加。県天草広域本部の担当者らが道路計画の図面などを個別に説明した。地権者には用地買収交渉の進め方も伝え、協力を求めた。

全市民向け説明会は、10月14日午後7時から大矢野総合体育館で開く。（松冨浩之）

事業費2702万円。教育委員に近藤修氏（53）＝栄町＝の再任に同意した。インターネット上での人権保護を政府に求めるなど議員提出の意見書2件も可決した。

野球場の新設「見送りたい」

【天草市】一般質問が始まり、五通俊作（公明）、中尾友二（新風天草）、鶴戸継啓（天政会）、浜崎義昭（共産）の4氏が聞いた。23年度供用開始予定の大矢崎緑地公園（本渡町広瀬）に整備するスポーツ拠点施設について、中村五木市長は

町から村から

人吉市
●7月豪雨でNPO法人が義援金　全国で病院や社会福祉法人などを展開する元気グループ傘下のNPO法人「共生フォーラム」（さいたま市）が23日、人吉市と球磨村の社会福祉協議会にそれぞれ

「市の財政運営を考慮し、多目的スポーツ広場と野球場新設は見送りたい」と述べた。約30億から事業費を23億3千万円に抑える。陸上競技場、スポーツコミッションセンター（仮称）などは、計画通り建設する。

八代市
●古里の豪雨災害被災者へ義援金　23日、大阪市の繁華街「北新地」で、ラウンジを経営する濱田祐規子さん（42）とすし店を経営する高橋謙太郎さん（36）が八代市に計100万円を贈った。濱田さんは同市郡築四番町出身で、高橋さんは濱田さんの友人。豪雨直後からそれぞれの店で募金を集めたという。市鏡支所で贈呈式に臨んだ濱田さんは「たくさんの客や仲間が八代を心配してくれた。一日も早い復興を願っている」と話した。

55万円を贈った。市社協では、グループの介護事業九州サンガ（熊本市東区）の諏訪免力社長が松岡誠也事務局長に目録を手渡した。松岡事務局長は「ボランティア活動や被災者支援に役立てる」と述べた。

昼ごはん 食べよ

ボリューム満点の「赤のれん久玉店」の唐揚げ弁当＝天草市

天草市社会福祉協議会の事務局長をしています。「住みなれた地域で誰もが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を掲げ、地域福祉に取り組んでいます。7月4日の豪雨では、牛深地域を中心に甚大な被害が出ま

アにも大好評

8月19日までに家屋に流れ込んだ泥かきなどの作業をほぼ完了することができました。感謝いたします。

昼食に社協職員でよく食べるのは「赤のれん久玉店」＝☎0969（73）4666、日曜定休

ボランティア

【災害ボランティアセンター】八代市、人吉市・球磨村（合同）、芦北町・津奈木町（合同）、天草市の各社協が被災者の支援ニーズに応じ、支援者（県内在住者、天草は市内在住者）を募集。芦北・津奈木、天草は事前登録が必要。支援活動は人吉・球磨と芦北・津奈木が金土日曜のみ、八代が金土曜のみ、天草は原則平日も対応。県災害ボランティアセンター（県社協）☎096(324)5436

各市町村の災害ボランティアセンター

市町村	問い合わせ先
八代市	080(5063)9743
人吉市・球磨村	090(5731)9259
芦北町・津奈木町	0966(83)8335

【災害ボランティア車両の高速道無料措置】ボランティア車両証明書（往路・復路分）をダウンロード（https://corp.w-nexco.co.jp/newly/r1/0830/）して記入。被災地のIC（出口料金所）や災害ボランティアセンターで必要手続きを。30日まで

【ボランティアバス】県と熊本市が無料運行。利用できるのは県内在住者で、県は中学生以上（中学生は保護者同伴、高校生は保護者の同意が必要）、熊本市は18歳以上（高校生除く）。保険料500円。事前予約制＝県は九州産交ナイスデイバスツアー☎096(325)8242、熊本市は九州産交ツーリズム☎096(325)3535＝で受付時間はいずれも平日10～17時。活動先と運行日は次の通り。◇人吉市・球磨村▽県運行　発着場所は熊本日曜のみ▽熊本市運行　桜町バスターミナル発着で26日まで金土曜

※菊池市、宇土市、上天草市、合志市などの社協でも週末に運行

相談窓口

【県弁護士会】生活再建支援制度の無料相談。税金や住宅ローンの減免、銀行通帳や権利証の紛失時の対応など。平日正午～14時。電話相談☎096(312)3252。面談相談（要予約）☎096(325)0009

【県司法書士会】相続や登記、住宅改修、雇用に関するトラブル、借金返済、事業継続、公的支援など。平日17～20時。☎(0120)120835。ウェブ面談＝平日9～17時に☎096(364)2889で予約を

【法テラス】被災者専用フリーダイヤル☎(0120)078309。平日9～21時、援制度などのほか、「どこに相談したらいいか分からない」といった被災者を担当の行政機関に取り次ぐ。平日8時半～17時15分。☎(0120)133145

【特別労働相談】熊本労働局が給与支払い、解雇や雇い止め、労災補償などの相談に応じる。平日8時半～17時。フリーダイヤル☎(0120)700810

【日本政策金融公庫】災害復旧貸付。平日9～17時。小規模事業者☎0965(32)5195▽中小企業☎096(352)9155▽農林漁業者☎096(353)3104

住まい

【住宅再建】県が電話相談窓口を開設。県建築士会の1級建築士らが補修や改修について助言。平日13～16時。☎096(384)0131